

がくどうほいく ふなばし

No. 1 市連協だより

2004.7.16(金)発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市南本町31-5

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

父母と父母会の運動でルームの拡充を

～2004年度定期総会が開催される～

6月20日、宮本公民館で船橋市学童保育連絡協議会の定期総会が開催されました。

総会には、12ルームから 人の父母・指導員が参加しました。

この1年間の活動報告では、**‡**父母と父母会の運動により、今年度は6ルームの増設が予定され、引き続き、来年度以降も増設が計画されるなど、抜本的な待機児童の解消の方向に踏み出した **‡A**父母も参加したルーム主催の行事が創意工夫を凝らして取り組まれていること **‡B**ルーム開設時間の延長が実現 **‡C**第3回「がくどうまつり」が約1000人の参加で成功した など多くの面での運動の前進が報告されました。

今後の活動方針では、**‡D**運動の原動力は父母と父母会の運動であり、定例会等で父母会の経験交流を強めていく **‡A**ルーム増設とともに保育内容の充実を求めていく **‡B**年生以上の入所 **‡C**指導員の安定した配置と待遇の改善 等が確認されました。

(次頁に総会での発言を記載しています)

2004年度新役員 (7/2現在)

会長 小川(葛飾)

副会長 西野(八栄)

島津(行田地区合同)

小松崎(指導員労組)

会計 山崎(峰台・市場)

幹事 栗原(行田 OB)、樋口(行田 OB)、森尻(小栗原)、喜治(葛飾)、瀬戸山(習1)

事務局 細田(法典)、小丸

会計監査 武田(宮本)

曾根(法典)

総会での発言から

(葛飾)

増設により定員が60名から130名に。父母会では、CAP講習や給食弁当に取り組んでいる。

5月の新入所歓迎会は潮干狩りとバーベキューを行った。

(法典)

増設の説明会があったが、図書室との共用で、出入口が1箇所しかなく、子ども達の荷物は今のルームに置くことから、実際は現ルームに詰め込むことになるのではないかと心配。

(小栗原)

10月に体育館倉庫の2階にルーム増設。定員は80名から130名へ。

夏休み中は、和室にエアコンを設置し、待機児童を受け入れる。6月末の増設説明会に向けて父母の意見を集約中。

(法典西)

学校から20分も歩くルームの移転問題に引き続き取り組む。6月の父母会総会は、バーベキューも兼ねて約50人が参加。

(八栄)

父母会活動は、給食弁当の取り組み、9月のミニ運動会は20家族60名の参加が。3月のお別れ会は27家族53名が参加。

(宮本)

増設により多くの子ども達が入所できているが、その一方で大規模化による保育の質の低下を父母会で考える必要。

親子行事は、去年はクリスマス会、今年は、5月に親子でゲームを楽しんだ。

(峰台)

今年度4年生以上の12名が待機に。市場ルームに9名入所した。

父母会でも増設問題を議論していきたい。20家族70名でボーリング大会を開催した。お弁当の取り組みも好評。

今年度増設されるルームで

市の増設説明会が開催

今年度増設が予定されている各ルームでは、市から父母に対し「増設にあたっての説明会」が行われています。

各ルームの増設計画は、プレハブ等の新築によるもの、倉庫等の学校施設の2階に設置されるもの、図書室との共用など様々な形態となることが明らかになっています。

また、4年生以上も含めた入所希望の多い夏休み以後に増設となるルームもあり、夏休み中の緊急の受け入れ策も求めていくことが必要になっています。

市連協としては、待機児童解消のため、増設そのものは評価しつつも、ルームによって保育水準に大きな格差を生じさせることは問題であり、各ルームの増設計画を情報交換し、必要であれば、最低限必要な設備等を取りまとめ、各父母会が市に対し要望していくことが重要だと考えています。

6月26日に行われた葛飾ルームの説明会の概要をお知らせします。

1. 増設の内容 学校敷地内にプレハブを新築。設備は基本的に既存ルームと同じ
2. 工期 6月中旬から9月15日を予定
3. 定員 現行60人が8月1日から70名増の130人へ
4. 完成後は、既存ルームと新設ルームに分かれて入所する。
5. 待機児童 待機されているお子さんは8月から入所できる
6. 8月から工事完成までは、既存ルームと臨時に確保した部屋(学校のプレイルーム)を使用し対応する

*** (お願い) 各ルームの増設計画の概要を市連協へお寄せください。**

ほのぼの保育報告

豊富放課後ルームは、児童数20名弱の小さなルームです。
でも、校区が広いので、ほとんどの子ども達は毎朝スクールバスで登校し、ルームからはお迎えで帰宅しています。

父母と指導員のつながりは、毎日会ってお話できるので、深いルームと思います。

12月に行った保護者会懇談会の時、お母さんから親子行事をぜひやりたいという声があがりました。まずはアンケートで聞いてみたら、というアドバイスもありました。その結果、参加希望の方が多く、親子で楽しめるゲームなどを行うことにしました。

3月12日(土)午後2時から4時の予定で、ルームで「親子ゲーム大会」を行いました。親・子・兄弟たち、総勢40名以上の参加になり、普段は余裕を感じることもあるルームが、さすがにいっぱいになりました。

まずは、子ども達が手作りしたカルタを親・子が読み上げて、カルタ取り大会をしました。大きなカルタもたくさんのかこまれて、小さく見えました。その後、グラウンドに出てドッチボールを親チーム・子チームと分かれて楽しみました。みんなアツクりましたが、子チームが勝ちました。お楽しみコーナーで、子ども達一人ずつが、フィルムケースとバブでロケットを飛ばしました。

ルームに戻ってサンドイッチ等で一息ついた時には予定の4時を過ぎてしまいました。子ども達の合唱「世界で一つだけの花、地上の星」を歌いイベントをしめくりました。

「楽しかったから、また来年もやろう」といううれしい声も何人からもいただきました。お母さん方から背中を押してもらって勇気がわきました。親と子と指導員の楽しい一日でした。
(文責: 武末)